

令和3年度進行管理・評価シート
棚倉町 歴史的風致維持向上計画（令和2年6月24日認定）

□進捗評価シート(様式1)

| | | |
|----------------------------------|-------|----|
| ①組織体制(様式1-1) | | |
| 1 棚倉町歴史的風致維持向上計画の推進体制 | | 1 |
| ②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2) | | |
| 1 良好な景観を形成する施策との連携 | | 2 |
| ③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3) | | |
| 1 棚倉城下町の歴史的建造物調査事業 | | 3 |
| 2 歴史的風致形成建造物保存支援事業 | | 4 |
| 3 史跡棚倉城跡保存活用計画・整備計画策定事業 | | 5 |
| 4 赤館城跡周辺調査事業 | | 6 |
| 5 棚倉城跡周辺道路整備事業 | | 7 |
| 6 棚倉城下道路整備事業 | | 8 |
| 7 馬場都々古別神社門前環境整備事業 | | 9 |
| 8 伝統文化・技術の職人及び担い手育成事業 | | 10 |
| 9 民俗芸能団体の活動支援事業 | | 11 |
| 10 まつり助成事業 | | 12 |
| 11 棚倉城跡観光拠点施設整備事業 | | 13 |
| 12 ARアプリ整備事業 | | 14 |
| 13 赤館公園整備事業 | | 15 |
| 14 周遊性向上・案内板等整備事業 | | 16 |
| 15 多言語周遊型観光パンフレット作成事業 | | 17 |
| 16 歴史案内人育成事業 | | 18 |
| 17 小中学生の認識向上推進事業 | | 19 |
| 18 歴史・文化財学習講座事業 | | 20 |
| ④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4) | | |
| 1 文化財調査・指定・保存管理に関する取り組み | | 21 |
| 2 文化財の周辺環境整備・防災・防犯に関する取り組み | | 22 |
| 3 文化財の普及啓発・民間団体への助成・支援・連携等に関する取り | | 23 |
| ⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5) | | 24 |
| ⑥その他(効果等)(様式1-6) | | 25 |

| | | |
|-------------------------|-------|-------|
| □法定協議会等におけるコメントシート(様式2) | | 26、27 |
|-------------------------|-------|-------|

評価軸①-1
組織体制

| | | |
|---------------------|---|-------|
| | 評価対象年度 | 令和3年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 棚倉町歴史的風致維持向上計画の推進体制 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

計画に記載している内容
 地域創生課を事務局とし、平成31年度に組織した「棚倉町歴史まちづくり庁内推進委員会」及び作業部会の「棚倉町歴史まちづくり庁内ワーキンググループ」を中心に関係各課が連携して、事業手法、計画の変更や調整等検討していく。また、歴史まちづくり法第11条に基づく「棚倉町歴史的風致維持向上計画推進協議会」において協議・検討を行い、計画の推進を図っていく。さらに、必要に応じ、棚倉町文化財保護審議会をはじめ、計画の推進に関係する協議会・審議会等とも連絡調整を行う。

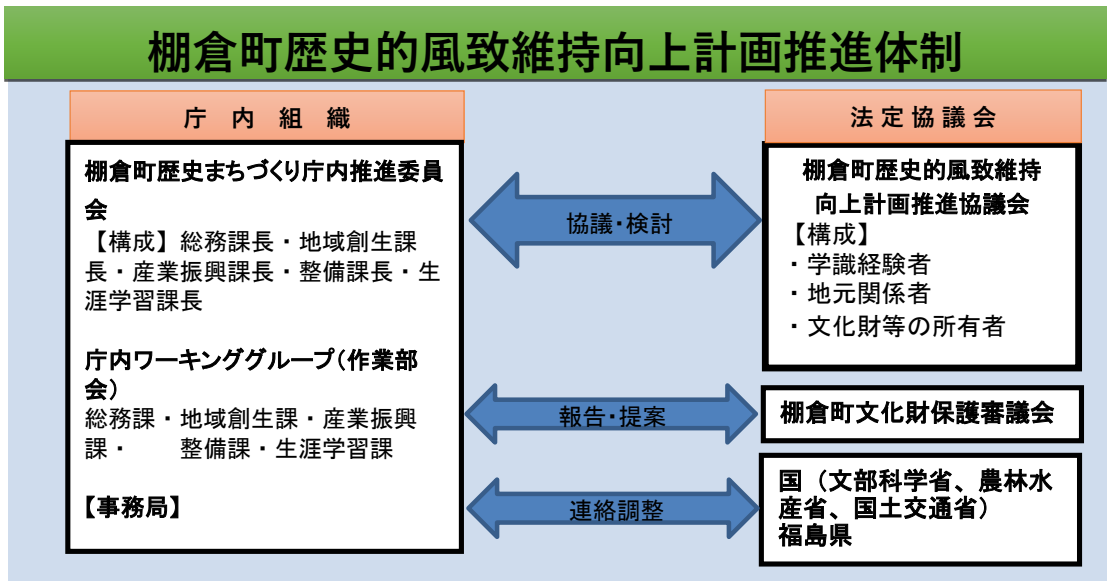
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

具体的な工法や各年の事業量を検討し、事業の実施計画を作成するために庁内推進委員会、庁内ワーキンググループを開催した。また、事業の推進にあたり関係課からヒアリングを実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

| | |
|--------------------------|---|
| 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | 引き続き、庁内組織が連携して事業等について検討していくとともに、歴史的風致維持向上計画推進協議会と協議・検討を行い計画を推進していく。 |
|--------------------------|---|

状況を示す写真や資料等



- 会議等の開催状況
- ・令和3年4月26日 庁内ワーキンググループ(事業の実施に向けた課題整理、検討)
 - ・令和3年5月18日 棚倉町歴史まちづくり庁内推進委員会(施設の整備方針等の検討)
 - ・令和3年6月15日 棚倉町歴史まちづくり庁内推進委員会、庁内ワーキンググループ(福島県との協議結果報告、具体的な工法等検討)

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

| 項目 | 評価対象年度 | 令和3年度 |
|------------------|--------|---|
| | | 現在の状況 |
| 良好な景観を形成する施策との連携 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

計画に記載している内容

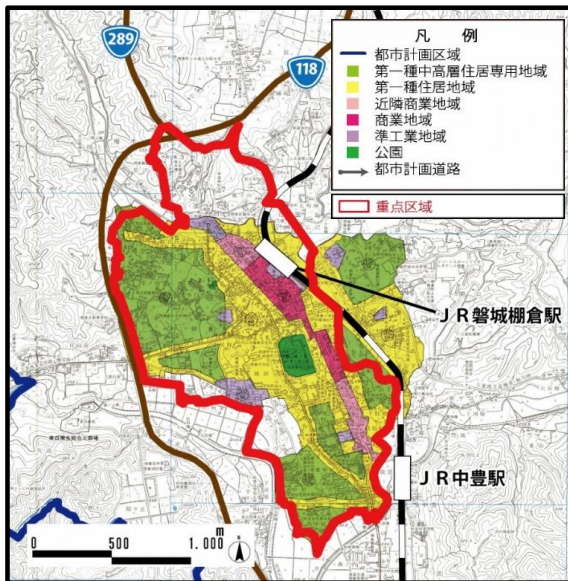
- ・都市計画法との連携
重点区域の全域が非線引きの都市計画区域に包含されており、用途地域と用途地域外の両方が存在している。さらに、用途地域では、住居系用途、商業系用途、工業系用途が混在している。
- ・景観法との連携
「福島県景観計画」による景観計画区域に町全域が指定されている。
- ・屋外広告物に関する規制との連携
重点区域内には、原則、屋外広告物を表示できない特別規制地域と市町村長の許可が必要になる普通規制地域が混在している。
- ・棚倉町農業振興地域整備計画との連携
重点区域内では都市計画の用途地域以外の区域が農業振興地域に指定されている。
- ・自然公園に関する規制との連携
重点区域内の棚倉城跡の4.9haが、福島県立自然公園条例に基づく奥久慈県立自然公園(棚倉城跡地区)に指定されている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

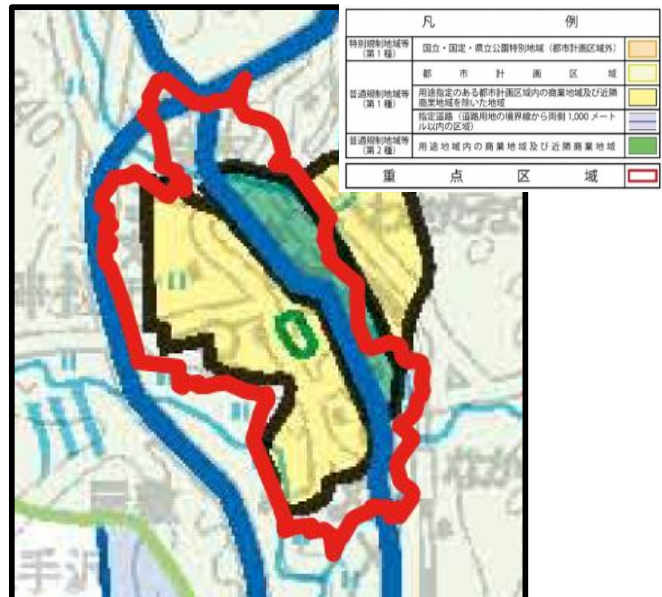
良好な景観の形成のため、各種施策と連携して運用した。
重点区域内の屋外広告物許可件数:2件

| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 自然と歴史的風致が一体となった良好な景観が形成されるよう、引き続き各種施策と連携するとともに、景観行政団体への移行を検討する。 |

状況を示す写真や資料等



重点区域と都市計画区域の区域図



重点区域と屋外広告物規制の区域図

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|------------------|---|-------|
| | 評価対象年度 | 令和3年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 棚倉城下町の歴史的建造物調査事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 令和2年度～令和5年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 重点区域内における歴史的建造物の保存・活用を推進するため、建造物の構造や建築年次等を調査し、歴史的風致形成建造物の候補となる建造物の抽出を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

庁内関係課との調整会議において調査対象等の検討を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 調査対象の選定や調査の体制等を確立しなければならない。歴史的風致形成建造物の指定や保存修理等を見据え、情報収集に努め、必要に応じて調査を実施していく。

状況を示す写真や資料等



重点区域内に残る歴史的建造物

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 令和3年度 |
|------------------|--|---|-------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 歴史的風致形成建造物保存支援事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

| | |
|-------|--------------|
| 事業期間 | 令和3年度～令和11年度 |
| 支援事業名 | 町単独事業 |

| | |
|-------------|--|
| 計画に記載している内容 | 歴史的風致形成建造物の保全をするための、耐震化及び外観の修景、内装整備等の事業を支援し、歴史的風致形成建造物として保存する。 |
|-------------|--|

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物の指定を行うための例規の検討、指定及び保存までの手順の確認を行った。さらに、庁内で保存に対する補助の内容を検討し、街なみ環境整備方針、社会資本総合整備計画を整備した。

進捗状況 ※計画年次との対応

| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 建造物の所有者、文化財部局との連絡調整を密に行い、効果的な保存ができるよう、指定及び補助の体制を確立していく必要がある。 |

状況を示す写真や資料等



歴史的風致形成建造物の候補

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 令和3年度 |
|-----------------------|--|---|-------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 史跡棚倉城跡保存活用計画・整備計画策定事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 令和元年度～令和4年度

支援事業名 史跡等保存活用計画等策定事業

計画に記載している内容 国指定の史跡である棚倉城跡の調査を行い、現状を把握したうえで、策定委員会を組織し、棚倉城跡の適切な保存及び効果的な活用を行うための保存活用計画を策定する。また、保存活用計画策定後に棚倉城跡の整備の方針を固め、整備計画策定に取り組む。

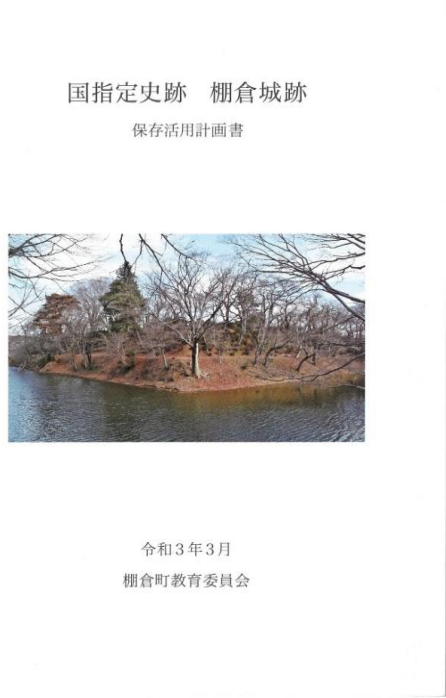
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年3月に「棚倉城跡保存活用計画」を策定した。棚倉城跡の具体的な保存整備・活用に向けて事業の進捗を図っていくため、令和3年度～令和4年度の2カ年で「棚倉城跡整備基本計画」の策定に取り組む。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 整備基本計画の策定にあたっては、専門的な見地からの指導・助言を受けるため、棚倉城跡整備基本計画策定委員会を設置した。

状況を示す写真や資料等



保存活用計画書



委員会の様子

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 令和3年度 |
|------------|--|---|-------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 赤館城跡周辺調査事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成29年度～令和3年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 赤館城跡の適切な管理、効果的な活用を行うために、赤館城跡及びその周辺において測量、発掘等の調査を行い、城郭の現状把握をする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

赤館城跡の主郭部周辺の測量図作成及び、曲輪の一部発掘調査を行った。今後5年間で国史跡指定化を目指して、継続的に調査を行っていく。

| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 所有者、関係部局との連携を強化していく必要がある。また、調査成果について住民への説明会等を実施し、理解を深めていく。 |

状況を示す写真や資料等



赤館城跡試掘調査の様子



令和2年度赤館城跡測量範囲写真

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 令和3年度 |
|--------------|--|---|-------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 棚倉城跡周辺道路整備事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

| | |
|-------|--------------|
| 事業期間 | 令和3年度～令和11年度 |
| 支援事業名 | 町単独事業 |

計画に記載している内容 棚倉城跡周辺地区において、城跡の景観に調和した空間の整備を図るため、道路の美装化や道路構造物の改修等を実施する。

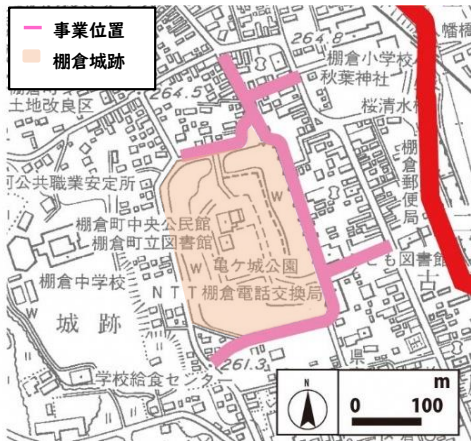
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

棚倉町歴史まちづくり庁内推進委員会、庁内ワーキンググループ等により、具体的な工法や各年の事業量を検討するとともに、福島県にも意見を伺い、事業の実施計画を作成した。また、町並み整備に向けたアンケート調査を実施し、街なみ環境整備方針、社会資本総合整備計画を整備した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

| | |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 測量調査や詳細設計を通して、主要材料等を決定していくが、周辺の環境と調和する道路整備を行っていく。 |
|--|---|

状況を示す写真や資料等



事業位置



現在の棚倉城跡周辺道路

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 令和3年度 |
|------------|--|---|-------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 棚倉城下道路整備事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 令和3年度～令和11年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 歴史的建造物が多く存在する棚倉城下町地区において、地域住民等の周遊性向上や歴史的建造物と調和した景観形成を目的に歩道の美装化を行う。また、歩道の整備にあわせて、歩道部にある構造物(街路灯・町堀)を改修する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

棚倉町歴史まちづくり庁内推進委員会、庁内ワーキンググループ等により、具体的な工法や各年の事業量を検討するとともに、福島県にも意見を伺い、事業の実施計画を作成した。また、町並み整備に向けたアンケート調査を実施し、街なみ環境整備方針、社会資本総合整備計画を整備した。

| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 街路灯の照度調査や側溝の流量調査を含めて、測量調査や詳細設計を通して、主要材料等を決定していくが、周辺の環境と調和する道路整備を行っていく。 |

状況を示す写真や資料等



事業位



現在の城下道路

評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 令和3年度 現在の状況 |
|------------------|--------|---|
| 馬場都々古別神社門前環境整備事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

事業期間 令和3年度～令和8年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 馬場都々古別神社門前地区の道路美装化や水路整備をはじめとした環境整備を行う。また、馬場都々古別神社周辺に地区住民等の街歩きの拠点となり、交流・憩いの場としても活用可能な施設の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

棚倉町歴史まちづくり庁内推進委員会、庁内ワーキンググループ等により、具体的な工法や各年の事業量を検討するとともに、福島県にも意見を伺い、事業の実施計画を作成した。また、町並み整備に向けたアンケート調査を実施し、街なみ環境整備方針、社会資本総合整備計画を整備した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

歴史的建造物・町並み・道路・水路・街歩き拠点等が調和するトータルデザインを検討する必要がある。地区住民とともに検討しながら事業を進めていく。

状況を示す写真や資料等



事業位置



現在の馬場都々古別神社門前地区



馬場都々古別神社本殿

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 令和3年度 |
|--|--|---|-------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 伝統文化・技術の職人及び担い手育成事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 令和2年度～令和11年度 | | |
| 支援事業名 | 町単独事業 | | |
| 計画に記載している内容 | 少子高齢化や人口減少により衰退しつつある伝統文化・技術が承継できるよう、後継者育成のための環境整備や、和菓子職人をはじめとした伝統文化・技術を引き継ぐ職人及び担い手などの育成活動に対して支援を行い、後継者を育成する。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 「伝統文化体験事業」として、郷土料理の一つである「おこと汁」について、JA東西しらかわ直売所の協力を得て、作り方や謂れ等についてネット配信を行い、PRを行った。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 郷土料理の紹介及び伝承のために「伝統文化体験事業」を継続していく。 | | |

状況を示す写真や資料等



おこと汁



調理の様子

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|---------------|---|-------|
| | 評価対象年度 | 令和3年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 民俗芸能団体の活動支援事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

| | |
|-------|--------------|
| 事業期間 | 令和2年度～令和11年度 |
| 支援事業名 | 町単独事業 |

計画に記載している内容
 重要無形民俗文化財に指定されている「都々古別神社の御田植」や「お枅明神の枅送り行事」をはじめとした民俗芸能の承継に取り組んでいる団体等に対し、必要に応じて学識経験者の指導、助言を得ながら、活動費の補助を行うとともに、支援や助言を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

以下の2件について支援等を行った。
 ○都々古別神社の御田植
 旧暦1月6日に開催される「都々古別神社の御田植」は、保存会と楽人会、神社の協力により実施された。
 ○お枅明神の枅送り行事
 また、3年ごとに実施される「お枅明神の枅送り行事」については、令和3年11月20日に滞りなく開催された。

| | |
|----------------|--------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|----------------|--------------------------|

| | |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 民俗芸能の伝承に際しては後継者不足と技術の伝承が大きな課題であり、保存団体と協力して後継者の育成に取り組む。 |
|--|--|

状況を示す写真や資料等



御田植祭の様子



お枅送りの様子

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 令和3年度 |
|--|---|---|-------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| まつり助成事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 令和2年度～令和11年度 | | |
| 支援事業名 | 町単独事業 | | |
| 計画に記載している内容 | 十万石棚倉城まつりや秋まつりなど、町内で行われているまつりの実行委員会等に対して、必要に応じて学識経験者の指導、助言を得ながら、事業費の補助等を行う。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、秋まつりをはじめ、補助対象となるまつりが中止となった。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | まつりの中止による伝統の風化等が無いように適時適切に助言を行う必要がある。 | | |
| 状況を示す写真や資料等 | | | |
| | | | |

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 令和3年度 現在の状況 |
|----------------|--------|---|
| 棚倉城跡観光拠点施設整備事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

事業期間 令和7年度～令和8年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 城下町の周遊の拠点となる観光案内施設がない状況にあるため、今後の棚倉城跡の遺跡保存に配慮しながら、来訪者に対し、文化財や歴史的建造物等の情報発信を行い、城下の街並みへの周遊性向上を図るため観光拠点施設を整備する。

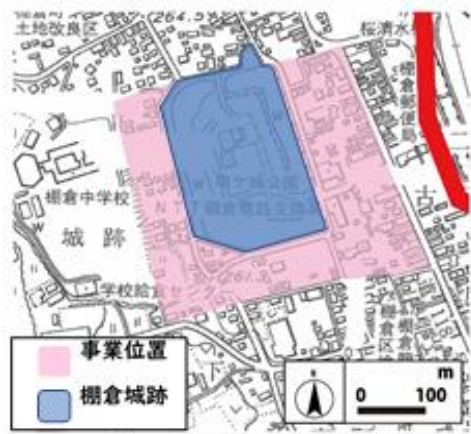
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

棚倉町歴史まちづくり庁内推進委員会、庁内ワーキンググループ等により、施設の概要等を検討するとともに、福島県にも意見を伺い、事業の実施計画を作成した。また、棚倉城跡は史跡に指定されていることから、文化財部局と連絡調整を図りながら、詳細の施設整備箇所について検討を行った。

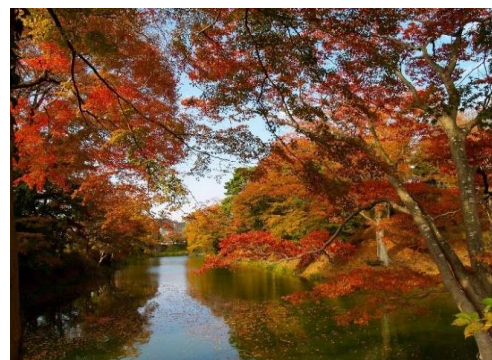
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 棚倉城跡保存活用計画・整備計画と関連のある事業なので、文化財部局と密に連絡調整をしながら、事業位置・デザイン等を検討していく必要がある。庁内ワーキンググループや庁内推進委員会等も活用して意見聴取しながら事業を進めていく。

状況を示す写真や資料等



事業位置



春や秋をはじめ観光客が多く訪れる棚倉城跡

評価軸③-12
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 令和3年度 現在の状況 |
|-----------|--------|---|
| ARアプリ整備事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

事業期間 令和3年度～令和11年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 スマートフォンやタブレット端末の画面に棚倉城の本丸や隅櫓などを再現するARアプリを開発するとともに、棚倉城跡周辺にARアプリへ誘導するQRコード付き案内板を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

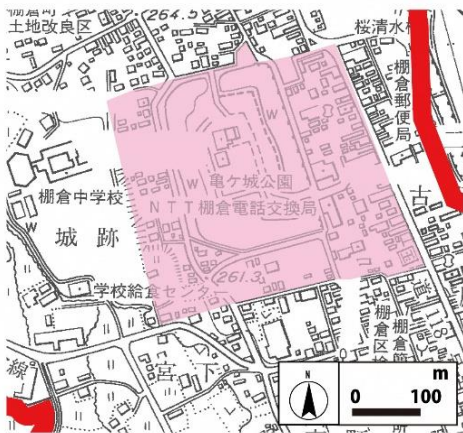
文化財部局と連絡調整を行い、絵図等の史料を収集した。また、先進事例等の研究を行い、具体的な事業内容の検討を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

史料等が少なく、今後とも収集が必要である。文化財部局と密に連絡調整をしながら、アプリのデザイン等を検討していく。

状況を示す写真や資料等



事業位置



棚倉城跡周辺の古地図(日本古城絵図より)

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 令和3年度 |
|----------|--|---|-------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 赤館公園整備事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 令和5年度～令和11年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 赤館城跡内に位置し、観光地である赤館公園の来訪者の利便性向上と観光誘客促進のため、トイレの改修をはじめとした利便性向上施設の整備や本町の街並みを一望できる立地を生かした展望施設を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

棚倉町歴史まちづくり庁内推進委員会、庁内ワーキンググループ等により、施設の概要、各年の事業量等を検討するとともに、福島県にも意見を伺い、事業の実施計画を作成した。

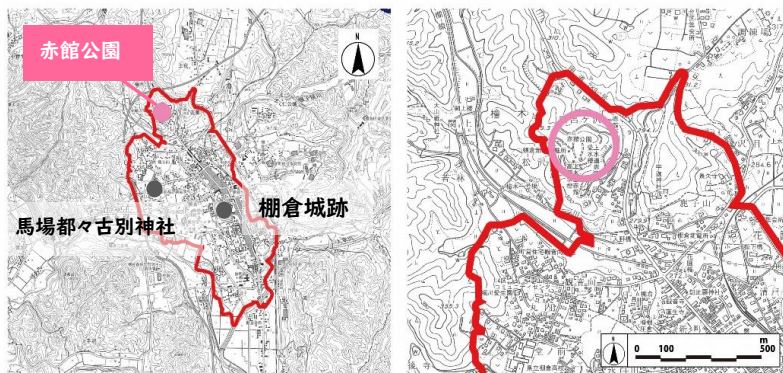
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

整備予定箇所は埋蔵文化財包蔵地であるとともに、文化財部局による調査等が行われている場所であるため、文化財部局と密に連絡調整を行いながら具体的な工法やデザイン等を検討していく必要がある。

状況を示す写真や資料等



事業位置



赤館公園からの眺望



現在の赤館公園トイレ

評価軸③-14
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|----------------|---|-------|
| | 評価対象年度 | 令和3年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 周遊性向上・案内板等整備事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 令和3年度～令和8年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 地域住民等が町内の歴史的建造物や文化財等を楽しみながら効率的に周遊できるルートを検討・構築し、案内板等を設置する。また、町内の案内板等のデザインを統一し、周遊ルートに合わせた案内標識や歴史的建造物等の説明板を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

棚倉町歴史まちづくり庁内推進委員会、庁内ワーキンググループ等により、各年の事業量やデザイン等を検討し、事業の実施計画を作成した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

案内板の所管部署が複数あるため、案内板の調査をしたうえで、庁内ワーキンググループや庁内推進委員会などを活用して、各部署と密に連絡調整をしながら事業を進めていく。

状況を示す写真や資料等



現在の説明板や案内板

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 令和3年度 |
|--------------------|--|---|-------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 多言語周遊型観光パンフレット作成事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

| | |
|-------|--------------|
| 事業期間 | 令和2年度～令和11年度 |
| 支援事業名 | 町単独事業 |

計画に記載している内容 歴史的風致や文化財の分布、歴史的建造物等を含めた町内周遊型のパンフレットを作成する。また、英語や中国語などの多言語バージョンも併せて作成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

ふくしま県南観光推進協議会と連携して、狛犬を中心に県南地方を周遊するパンフレット「狛犬めぐり」を作成した。また、町内の観光マップを更新し、観光地等に配置した。

進捗状況 ※計画年次との対応

| | |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 新型コロナウイルスの影響により観光客が減少している。アフターコロナ、ウィズコロナを見据えた観光誘客を図っていく必要がある。 |
|--|---|

状況を示す写真や資料等



狛犬めぐり

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|-----------|--------|---|
| | 評価対象年度 | 令和3年度 |
| 項目 | | 現在の状況 |
| 歴史案内人育成事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

事業期間 平成26年度～令和11年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 来訪する観光客に対し、本町の歴史や文化、自然等、本町の魅力について紹介することができる人材を育成するため、歴史案内人の講習や視察等を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、視察等を行うことができなかったが、棚倉町を訪れた4件、74人に対し、ガイドを実施した。また、町民の歴史知識の向上、町への愛着心の醸成を図るために棚倉ふるさと検定を実施し、1級・2級合わせて延べ49人が受検した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

歴史案内人の確保や若い世代の人材育成が課題となる。引き続き、ふるさと検定等により人材育成を図っていく。

状況を示す写真や資料等



棚倉町ご当地検定「棚倉ふるさと検定」で棚倉町の知識を試してみませんか？受検には事前申し込みが必要ですので、以下をご確認のうえお申込みください。

| | | | |
|-------------------|--|-------------|--------------------------|
| 試験開始時間 | 2級 9:30 1級 11:00 (受付開始はそれぞれ30分前) | 出題範囲 | 棚倉町の歴史を中心に、観光、雑学などに関する事項 |
| 試験時間 | 60分 (終了後途中退席可) | 出題方式 | 4肢択一式 |
| 試験会場 | 棚倉町文化センター 第1・第2会議室 | 受験資格 | 住所・学歴・年齢・性別・国籍不問 |
| 合格基準 | 2級:60点以上 (棚倉町歴史虎ノ巻持ち込み可)、 1級:80点以上 (持ち込み不可) | 合格通知 | 後日郵便でのお知らせ |
| 申込方法 | 下記申込書を持参、FAX または電話での申込 | 定員 | 各級20名程度 |
| 申込みお問い合わせ先 | 棚倉町地域創生課 歴史観光係 TEL:0247-33-2112 FAX:0247-33-3715 | 受験料 | 無料 |

※棚倉町歴史虎ノ巻は、役場地域創生課で配布中。合格者には、オリジナル認定証を交付します。

月曜～金曜日 (8:30～17:15)



ふるさと検定の様子

○ふるさと検定受検者数
 1級・・・18人(9人合格)
 2級・・・31人(31人合格)

○ガイド実績
 10月19日 4人
 (棚倉城跡、八槻都々古別神社、八槻家住宅)
 11月5日
 (棚倉城跡、山本不動尊)
 11月9日 33人
 (棚倉城跡、八槻都々古別神社、八槻家住宅)

第8回 棚倉ふるさと検定受験申込書

| | | | |
|------|-----|---------|-------|
| フリガナ | | 電話番号 | |
| 名前 | | (市区・町村) | |
| 住所 | | 受験区分 | 1級 2級 |
| 性別 | 男 女 | 年齢 | 歳 |

ふるさと検定チラシ

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 令和3年度 |
|--|---|---|-------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 小中学生の認識向上推進事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 平成27年度～令和11年度 | | |
| 支援事業名 | 町単独事業 | | |
| 計画に記載している内容 | 町内の小中学校と連携し、小中学生に本町の歴史や文化、自然などに関する知識を持ってもらうため、わかりやすいテキスト等の作成や学習会の開催、現地での見学・体験をすることで、子供たちの認識向上を図る。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、学習会や現地での見学・体験を行うことができなかった。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | コロナ禍における学習会の体制等について検討していく必要がある。 | | |
| 状況を示す写真や資料等 | | | |
| | | | |

| 評価軸③-18 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項 | | 評価対象年度 | 令和3年度 |
|--|---|---|-------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 歴史・文化財学習講座事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 平成26年度～令和11年度 | | |
| 支援事業名 | 町単独事業 | | |
| 計画に記載している内容 | 本町の歴史や文化財に関する知識を深めるため、地域住民や地元団体等を対象に歴史や文化に関する講座を開催する。 また、地元の高校と連携しながら、高校生を対象とした出前講座やフィールドワークを実施する。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 棚倉町立図書館を会場に、町の歴史等の講座を3回開催し、各回とも定員を超える受講希望があった。また、地元高校生を対象とした出前講座を実施し、15人が参加した。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 町民の歴史知識の向上、町への愛着心の醸成を図るため、継続的に講座等を行っていく。 | | |

状況を示す写真や資料等

令和3年度

棚倉ふるさと講座

全3回





**歴史と伝統に育まれた
ふるさと棚倉について
学んでみませんか**

第1回 11/5(金)

棚倉町の歴史を学ぶ①
～城郭研究から見た
丹羽長重の棚倉城～

【講師】
福島県文化振興財団
遺跡調査部調査課 文化財主事
飯村 均氏

第2回 11/12(金)

棚倉町の土地を学ぶ
～足元にある化石と断層～

【講師】
福島県立博物館 学芸員
吉田 純輝氏

第3回 11/19(金)

棚倉町の歴史を学ぶ②
～棚倉町の狛犬たち～

【講師】
福島県南狛犬ネットワーク会長
相田 道代氏

時間 13:30～15:00

場所 棚倉町立図書館

申込方法 お電話でのお申込みになります。
お名前、ご住所、電話番号、参加希望日をお申し出ください。

申込期限 各回、開催日の前日正午まで (※定員に達し次第受付終了となります。)

※新型コロナウイルス感染症予防のため、当日はマスクの着用や手洗いの指導、検温等にご協力をお願いいたします。

定員 各回 **20名**

受講料 **無料**



HPはこちら

申込み・お問い合わせ先
棚倉町役場地域創生課 歴史観光係 TEL 0247-33-2112

月曜～金曜日
(8:30～17:15)



講座の様子

- 受講者数
- 11月5日 26人
棚倉町の歴史を学ぶ①
～城郭研究から見た丹羽長重の棚倉城～
- 11月12日 24人
棚倉町の土地を学ぶ
～足元にある化石と断層～
- 11月19日 28人
棚倉町の歴史を学ぶ②
～棚倉町の狛犬たち～
- 合 計 78人

- 高校生出張講座
- 11月24日 15人

講座チラシ

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

| | | 評価対象年度 | 令和3年度 |
|-----------------------|--|---|-------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 文化財調査・指定・保存管理に関する取り組み | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

計画に記載している内容 町内の指定等文化財については、関係法令等に基づいて、現況を確認しつつ適切な保存・管理に努めるとともに、無形の民俗文化財は活動への支援や助言等を行う。また、未指定文化財は調査を進め、歴史的価値が認められたものについては所有者や管理者などと協議し、歴史的風致形成建造物や町文化財に指定するなど保存・活用に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

町内に残る赤館城跡と寺山館跡を中心として国史跡指定化を目指し、調査等を実施した。(5年間で計画)

進捗状況 ※計画年次との対応

| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 職員不足による調査体制への懸念がある。調査体制について検討していく。 |

状況を示す写真や資料等



赤館城跡



寺山城跡(寺山館跡)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 令和3年度 |
|--------------------------|--------|--|
| 文化財の周辺環境整備・防災・防犯に関する取り組み | | 現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

計画に記載している内容
文化財とその周辺環境は、それぞれを別のものとして捉えるのではなく、文化財と一体的に、総合的に捉えることが重要であり、文化財の魅力や周辺景観を阻害している要素が見られる場合には、所有者や管理者などと協議のうえ改善を図る。また、文化財防火デーに合わせて、所有者、地域住民及び棚倉町消防団と連携した文化財周辺での消火訓練を行うとともに、消火設備、防火設備、防犯設備の推奨に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・周辺環境整備として、中世城館である八槻館跡とその周辺7,450㎡の下草刈等の森林整備を実施した。
・文化財防火デーに合わせた文化財防御訓練は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止となったため、棚倉町消防団の協力を得て、警戒活動等を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 文化財の所有者・管理者・地域住民・関係機関と連携して引き続き取り組みを行っている。 |

状況を示す写真や資料等



八槻館跡周辺の森林整備

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 令和3年度 現在の状況 |
|----------------------------------|--------|---|
| 文化財の普及啓発・民間団体への助成・支援・連携等に関する取り組み | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

計画に記載している内容
 広報誌のほか、文化財に関するリーフレット、公式ホームページやSNSでの文化財の情報発信に努める。また、現地説明会の開催や他市町村との情報の共有や意見交換などを通して、広域的な視点からの活動展開と新しい形の活動の充実を促す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

秋の紅葉の時期に県指定重要文化財「八槻家住宅」にて文化財の企画展を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|----------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 補助金等を活用し、多くの展示機会を設ける必要がある。 |

状況を示す写真や資料等



チラシ



展示の様子

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

| | | 評価対象年度 | 令和3年度 |
|---|------------------------|----------|-------|
| 報道等タイトル | 年月日 | 掲載紙等 | |
| ゴジてれSun! 2021秋の紅葉特集 (棚倉城跡、馬場都々古別神社、八槻都々古別神社) | 令和3年11月2日 令和3年11月7日 | 福島中央テレビ | |
| 秋の小京都棚倉をめぐる | 令和3年9月25日 | CJ Monmo | |
| シェア! 県民レポート(馬場都々古別神社、八槻都々古別神社) | 令和3年12月14日 | 福島放送 | |
| 今年の豊作祈る 福島県棚倉町で御田植祭 | 令和4年2月7日 | 福島民報 | |
| 五穀豊穡願い御田植祭 棚倉・八槻都々古別神社 | 令和4年2月7日 | 福島民友 | |

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本町の歴史や魅力が各種メディアで取り上げられたことにより、本町の歴史等の普及啓発につながった。

| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|---|----------------------------|
| <input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし | 町のホームページやSNSによる発信等を検討していく。 |

状況を示す写真や資料等

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和3年度

項目

観光振興に関する取り組み

計画に記載している内容

来訪者に歴史的風致や町内に点在する歴史的建造物や文化財などを紹介するため、観光案内施設や来訪者用施設などの受け入れ環境整備を進めることで、来訪者への情報発信を図る。
また、案内標識や観光案内板などはデザインを統一し、外国人観光客にも対応した多言語の標識や説明板などを整備するとともに、町内周遊型のパンフレットを作成・活用することで、来訪者が歴史的風致や文化財、歴史的建造物などについて理解し楽しみながら効率的に周遊できるルートを構築する。
さらに、来訪者に本町の魅力をスムーズに理解していただくため、本町の歴史や文化、自然などについて紹介することができる人材を育成し、より質の高いおもてなしができる歴史案内人の確保に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

令和3年4月から9月の東北DCキャンペーン期間限定で棚倉城の御城印を配布した。観光協会の窓口で配布したほか、ガイドを利用して棚倉城跡を訪れた方に配布を行った。県内外から観光客が訪れ、295枚を配布した。

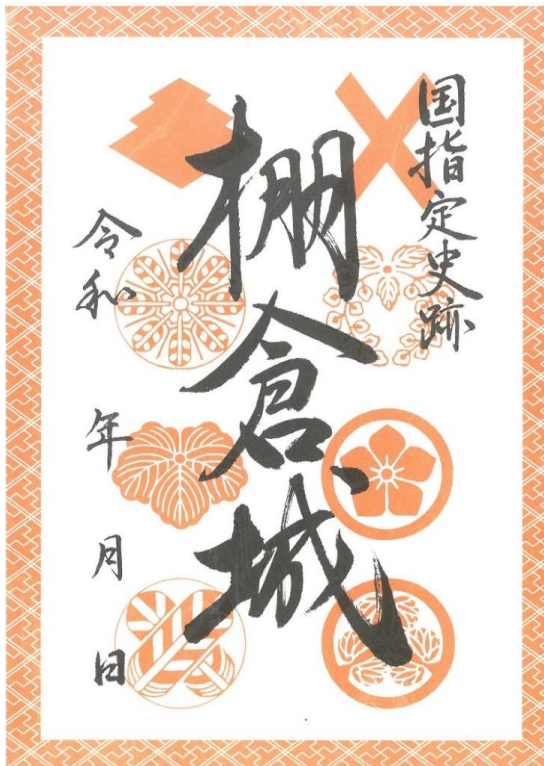
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

新型コロナウイルス感染症の影響により観光入込客数が減少しているため、歴史的風致を生かした観光振興等により、観光入込客数の増加を図っていく

状況を示す写真や資料等



棚倉城の御城印

○御城印の配布状況

- ・配布期間
令和3年4月～9月
- ・県外来訪者：116枚
- ・県内来訪者：99枚
- ・町内在住者：80枚
- 合計295枚

| | | |
|--|--|-------|
| 評価対象年度 | | 令和3年度 |
| ・法定協議会等におけるコメント | | |
| <p>コメントが出された会議等の名称: 令和4年度第1回棚倉町歴史的風致維持向上計画推進協議会 ※書面形式による開催</p> <p>会議等の開催日時: 令和4年5月9日から令和4年5月31日 ※会議資料送付から意見等に対する町の回答送付までの期間</p> <p>(コメントの概要)</p> <p>(1) 評価軸①-1: 横断的な庁内ワーキンググループによる検討の取り組みは、円滑・効果的な施策推進にあたり不可欠であることから、今後も継続して取り組まれない。一方、法定協議会の開催や外部専門家との連携については、まだまだ不十分と感ずるため、今後は推進されたい。また、今後は各種ハード整備を一体的にデザインマネジメントするための体制づくりも検討されたい。</p> <p>(2) 評価軸②-1: 景観まちづくりは歴史まちづくりの根幹をなす施策の一つであり、認定都市においては、良好な景観の創出を通じて地域の魅力を高めることが重要であるとする。歴史的風致維持向上計画と景観計画の連携を図る上で、県の景観計画に基づく景観計画区域への位置づけだけでは不十分であり、町独自の景観計画を策定し、主体的な景観行政に取り組むことが望ましい。</p> <p>(3) 評価軸③-2: 文化財建造物の耐震化・修理はその価値を見極めたうえでさまざまな整備手法があるので、方針や基本設計にあたって意思決定のプロセスがわかるような手順を踏んでほしい。文化財保護審議会との連携が必要。</p> <p>(4) 評価軸③-2: 歴史的建造物の候補として阿部正備茶室が掲載されているが、茶室がある場所は棚倉城跡の今後追加指定を目指す範囲に入っている。耐震や概観の修景を考えているようだが、当面はその場で茶室を維持していくのか、それとも将来的に史跡保護のため移築する等考えはあるか。</p> <p>(5) 評価軸③-5、③-6、③-7: いずれの路線も地域の顔となる重要な空間であることから、地域の歴史的環境や景観への配慮はもちろん、幅員構成の見直しや沿道の建築物・空地との一体的な整備、整備後の地域による管理・活用も含めた歩行者主体の空間づくりを通じて、単なる化粧直しに止まらない、地域の価値を高める本質的なまちづくりへと効果的に結びつけることが重要である。</p> <p>(6) 評価軸③-6: 現在の道路は雨水浸透型でカラー舗装となっており、雨の時は美しかったという思い出がある。一方で剥離しやすい状態にもある。大型ダンプカーの通り抜けも見受けられることや大型バスの駐車場進入もあると考えられるので測量調査、詳細調査では使用する合材など十分に検討する必要があると思われる。</p> <p>(今後の対応方針)</p> <p>(1) 法定協議会への提案と意見聴取の一層の推進を図り、必要な際は外部専門家との連携を検討する。また、ハード整備については法定協議会はもちろん、関係機関からの意見聴取にも努め、状況によっては新たな体制づくりも検討する。</p> <p>(2) 町景観計画について、調査研究を進める。</p> <p>(3) 文化財保護審議会との連携強化を図り、整備手法を検討していく。</p> <p>(4) 当面はその場で茶室を維持していくものとしている。</p> <p>(5) 地域の価値を高める本質的なまちづくりが実現されるよう検討を進める。</p> <p>(6) 最良の舗装工法について検討を進める。</p> | | |

| | | |
|---|--|-------|
| 評価対象年度 | | 令和3年度 |
| ・法定協議会等におけるコメント | | |
| <p>コメントが出された会議等の名称： 令和4年度第1回棚倉町歴史的風致維持向上計画推進協議会 ※書面形式による開催</p> <p>会議等の開催日時：令和4年5月9日から令和4年5月31日 ※会議資料送付から意見等に対する町の回答送付までの期間</p> <p>(コメントの概要)</p> <p>(7) 評価軸③-10：祭り等の無形の文化財の要素を持つものについては補助金のみだけではなく伝承する人を確保することも必用と考える。人作り、まち作りを積極的に行うべきであろう。</p> <p>(8) 評価軸③-11、③-13、③-14：棚倉城跡等の拠点と周辺街路の一体的なデザイン、及び公園・道路等の基盤と案内板等の情報装置の一体的なデザインを通じて、効果的に回遊性を向上させることが求められるため、各事業で別々にデザインを検討するのではなく、棚倉城周辺道路整備事業、棚倉城下道路整備事業等との一体的な(又は連動した)デザイン検討の枠組みを検討されたい。</p> <p>(9) 評価軸③-15：最近関心を持たれている狛犬を中心にパンフレットを作成されたのは興味深いと思われる。ただ、パンフレットの配置場所が明確でなく、適当な場所であったか、再考。</p> <p>(10) 評価軸④-1：職員不足は深刻な問題点。地面を掘削する事業にはすべて文化財保護法の手続きと埋蔵文化財専門職員による何らかの対応がでてくる。現状の体制では重点地区で行うこれらの事業が円滑には進められない。</p> <p>(11) 評価軸④-2：スペース・展示ケースの関係で、一度に展示出来る数が少なく、それも八槻家及び八槻都々古別神社関係に限られるのが現状です。これでは、計画に記載されている文化財とは町全体の文化財を指しているわけですから、計画の内容を達成するのは、難しいと思います。再考が必要かも知れません。</p> <p>(12) 全体：今回は計画の初年度であり、計画全体としては順調に進んでいるものと思うが計画を前倒しすることも考えて、守るべき風致が残せるように計画の実施をペースアップすることも見当すべきかと思えます。</p> <p>(13) 全体：コロナ禍の中にあって、概ね順調という印象を受けました。10年の計画期間において、これからがいよいよ本番だと思います。多様な事業があるなか、庁内関係組織が連携して、いい成果が出せるように取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>(今後の対応方針)</p> <p>(7) 関係団体と連携し検討を進める。</p> <p>(8) 一体的なデザインを意識しながら検討を進める。</p> <p>(9) パンフレット等の設置については、その都度、より効果のある形を調査検討する。</p> <p>(10) 調査体制について検討を進める。</p> <p>(11) 企画展に適した実施場所を検討するとともに情報発信等により文化財の普及啓発に努める。</p> <p>(12) 関係団体等との綿密な調整が必要であることを想定し整備計画を立てている。可能であれば前倒しできるように努めたい。</p> <p>(13) 歴史まちづくり庁内推進委員会を中心とした庁内組織の連携を強化するとともに、法定協議会への提案と意見聴取の一層の推進を図り、また、文化財保護審議会や関係機関との連携にも努めるなどして事業を進めていく。</p> | | |